

# 第三中学校・第十中学校統合委員会 要 点 記 録

## 第 1 6 回

開 催 日 時	平成 30 年 2 月 5 日(月) 午後 6 時 30 分～7 時 55 分	
開 催 場 所	東中野区民活動センター 洋室 1・2 号	
出席者	委 員	岸哲也、神山知明、山口竜弥、八束重宣、田中圭子、 佐藤志保、河野千枝、佐々木直巳、村上昌子、澤野ゆり、 小田嶋歩、神谷真美、植田恵美子、前澤芳子、五十川由紀子、 伊藤由香里、荻野嘉彦、前田純子、齋藤久、弓田豊、 三保谷浩貴、辻成一郎、板垣淑子、石原千鶴 (敬称略、順不同)
	その他	田辺教育長
	事務局	学校再編担当
会 議 次 第	<b>【報告】</b> 1 教育委員会への報告について 2 標準服等支給の状況について（口頭報告） <b>【議事】</b> 1 中野東中学校の校旗について 2 中野東中学校の校歌について 3 その他 <b>【閉会】</b> 1 各委員より一言 2 教育長あいさつ	

### 第 1 6 回 第三中学校・第十中学校統合委員会 会 議 要 旨

#### 1 開会

##### 委員長

それでは、第 16 回学校統合委員会を開会する。本日、傍聴希望者がいる。傍聴についてこれを許可したいと思うが、宜しいか。

— 異議なし —

##### 委員長

それでは、傍聴者は、議事の進行を妨げないようにお願いします。では、報告（1）教育委員会への報告について、事務局の報告を求める。

#### 報告（1）教育委員会への報告について

■資料「中野東中学校の校章、校歌、校旗及び学校指定品等について」を事務局より報告



平成29年10月18日

中野区教育委員会 御中

第三中学校・第十中学校統合委員会

委員長 岸 哲 也

### 中野東中学校の校章、校歌、校旗及び学校指定品等について

中野東中学校の校章、校歌、校旗及び学校指定品等について、以下のとおり意見を取りまとめましたので、学校統合委員会の設置に関する要綱第3条第1項の規定に基づき、報告します。

#### 1 校章

校章は、統合する第三中学校と第十中学校の生徒や関係者などからデザイン案を募集し、それをもとに専門家にデザイン化を依頼して検討した結果、下図のとおりとする。



#### 【校章の説明】

この校章は、統合する第三中学校と第十中学校の生徒や関係者などから広く図案を募集し、応募作品の中から第三中学校・第十中学校統合委員会での検討を経て定められたものです。

本中学は、中野区が一番東に位置していることから、中野区の地図に本中学の所在場所を種で表しました。東は、太陽が昇る方位であり、太陽の陽光を浴びてこの種から各学年を表す3つの若芽が、仲間と共に夢と希望へ向かって育っていく様を表しています。また、教育目標である「知を磨き 徳を高め 体を作る」の三点も表現しています。

この3つの若芽は、「家庭・地域・学校」も表しており、これらが連携して生徒たちの成長を見守り、中野東中学校から大きく伸びやかに、そして健康に育って欲しいという願いが込められています。

所在場所を表現したのは、将来この地を離れることがあっても、いつでも安心して帰ってこられる場所、母校だということも意味しています。

#### 2 校歌

作詞は覚 和歌子氏に、作曲は木下 弦二氏に依頼する。

#### 3 校旗

校旗については、校章と校名を入れることとして、生地の色や、そのほかの部分については、第三中学校・第十中学校と教育委員会とで協議して決めてもらうこととする。

#### 4 学校指定品等

##### (1) 標準服

統合委員会の中に「標準服検討部会」を設置するとともに、標準服関係業者によるプレゼンテーションや、標準服候補展示会での生徒・保護者等からの意見を参考に協議した結果、以下のとおりとする。

① 男子

濃紺を基調としたブレザー、スラックス

紺地にストライプの入ったネクタイ（ワンタッチタイプ）

夏服は冬服と同柄で夏素材のスラックス、サックスブルーのポロシャツ

② 女子

濃紺を基調としたブレザー（イートンタイプ・襟なし）、チェックのスカート（スラックス

を選択可）、セーラーブラウス

紺地のリボン（ワンタッチタイプ）

夏服は冬服と同柄で夏素材のスカート、半袖セーラーブラウス



（2）体操着等

体操着等（トレーニングウェア長袖上下、半袖シャツ、ハーフパンツ）については、第三中学校と第十中学校で協議して決めてもらうこととする。

事務局

資料は、前回の統合委員会で取りまとめた意見を、昨年の10月18日に教育委員会へ報告した時のものである。確認いただきたい。

委員長

今の報告について、質問等あるか。なければ次の報告に移る。

報告（2）標準服等支給の状況について

委員長

次に、報告（2）標準服等支給の状況について、事務局の説明を求める。

事務局

中野東中学校へ通学することとなる、現在の第三中学校、第十中学校の1、2年生については、

教育委員会から、標準服と体育着等を支給する。それに伴い、第三中学校では1月15日と19日の放課後に、業者による採寸を行った。また、第十中学校では1月13日の学校公開日の午後に採寸を行った。両校とも、転校予定者以外は、基本的に全員が支給を希望している。まだ採寸できていない数名については、指定店で採寸を行ってもらい、3月中旬以降修了式の前までに、両校を通じて中野東中学校の標準服と体操着を支給する予定である。

委員長

今の報告について、質問等あるか。なければ議事に入る。

## 2 議事

### 議事(1) 中野東中学校の校旗について

委員長

議事(1) 中野東中学校の校旗について、事務局の説明を求める。

事務局

前方に校旗の現物を飾っている。校旗については前回、校章と校名を入れることと、色褪せにくい濃い色にすることが決まり、刺繍糸の色等については、両校と事務局で調整することになった。調整の結果、生地の色は紫紺、織り方は正絹糸別織・綾錦織になった。本日統合委員会の終了後に近くで見ていただきたい。絹地の部分は皮脂に弱いため、素手で触らないようお願いする。刺繍糸は、改良金糸と銀糸を使用し、総盛り上げ手刺繍の5段構成である。中野東の文字が浮き出て見えるようになっている。竿、校章を打ち出しした金メッキの旗頭、三脚、帯、保存箱がセットである。製造業者からは、丁寧に取扱えば50年はもつと言われているので、ぜひ新校で長く活用してほしい。

委員長

今の説明について質問等あるか。なければ次の議事に移る。

### 議事(2) 中野東中学校の校歌

委員長

それでは、議事(2) 中野東中学校の校歌について、事務局の説明を求める。

#### ■資料「中野東中学校の校歌について」事務局より説明 (概要)

#### 中野東中学校の校歌について

中野区立中野東中学校校歌

覚 和歌子 作詞  
木下 弦二 作曲  
栗田 妙子 編曲

一 今まで教わった言葉の数は  
たくさんありすぎて数えきれない  
だけど本当に伝えたいことは  
どうしてだろう 言葉にできない

手探りでさがしてる  
この気持ちにつける名まえを

星たちの下で 紡がれた歌に  
朝焼けの向こうで 呼んでいる声に  
耳をすませて  
耳をすませて

二 地球のどこかで 誰かが今日も  
重力に逆らう 羽を広げる  
僕にもできる そう信じてる  
世界を胸に 夢をかたちに

手探りでさがしてる  
出会うために 生まれた仲間を

この星に暮らす人たちの歌に  
旅立ちを告げる鳥たちの声に  
耳をすませて  
耳をすませて

星たちの下で 紡がれた歌に  
朝焼けの向こうで 呼んでいる声に  
耳をすませて 今

ラララ・・・・

※歌詞は一部変更になる可能性があります

#### 事務局

資料「中野東中学校の校歌について」には、校歌の歌詞、作詞家による歌詞解説、楽譜を掲載している。

作詞は覚和歌子氏、作曲は木下弦二氏に依頼して制作してもらった。第十中学校の音楽専科の先生にデモCDを作成いただいたので、本日皆様に視聴いただく。ただし、事前に委員長、副委員長、両中学校、教育委員会の指導室で確認した結果、3か所について変更の可能性がある。

1点目が初めの4行の、中学生の不安な気持ちが表現されている部分である。校歌としては否定的な言い回しは避けたいという要望があり、現在、変更できないか作者に相談している。2点目は、2番3行目の「僕にもできる」である。男子限定の表現なので、性別を問わない「私」に変更できないか、という要望が出た。なお、この点については、歌詞解説部分の最後で作者が言及しているように、変更の了承は既にもらっている。3点目については、第十中学校の音楽専科の先生から、生徒たちが歌いやすいようにピアノ伴奏をアレンジできないかという提案があったので、作者との間で調整してもらっているところである。

以上、今後一部変更する可能性もあるが、デモCDをお聴きいただきたい。

#### — 校歌視聴 —

#### 委員長

視聴した感想等を伺いたい。

#### 委員

初めの部分の音程が低かったが、女子が歌えるのか。

事務局

むしろ女子向きの音階である。逆に、声変わりの最中の男子は高音が出しづらいかもしれない。

委員

最後の部分は男女2部合唱なのか。

事務局

男女とは限らないが、2部合唱である。

委員

校歌にしてはウラウというリフレイン部分が長いと感じた。

委員

リフレイン部分については、例えば式典の場では、短く編曲して歌うことはできるのか。

事務局

学校でそうした要望が出てきた時は、作者と相談してもらおうことになると思う。

委員長

自分の感想としては、日本語のイントネーションやアクセントがとても自然で、聴きやすく感じた。他に感想等はあるか。では調整中の変更点については、作者と学校と事務局に一任して宜しいか。

— 異議なし —

### 議事(3) その他

委員長

以上で全ての議事が終了した。最後に事務局から今後の日程について連絡がある。

事務局

中野東中学校の開校までの予定を報告する。第三中学校、第十中学校とも3月23日の終了式の日に関校式を行う。関校式は、第三中学校では午前11時から、第十中学校では午前9時15分からの予定である。それ以降の3月中に、現在の第三中学校の場所へ、新校で使用する物品を第十中学校から移送したり、第三中学校の校名板を撤去して新しい校名板を新設したり等の準備を行う。

中野東中学校は、4月6日の始業式に関校宣言を行う。関校記念式典は、学校公開日である5月12日土曜日の午前9時30分から開催する。統合委員の皆様には、案内を送付する。

今回の統合委員会ニュースは3月上旬に最終号として発行する。この後全員で、校旗と一緒に記念撮影をする。また、皆様から一言ずつ頂く予定だが、それらのコメント、写真、修正後の校歌を掲載する予定である。校歌の修正については、このニュースを、発行前に事前確認のために送付するので、その時に最終版を確認してほしい。

### 3 閉会

#### (1) 各委員より一言

委員長

2年半に渡りご協力いただき、誠に感謝申し上げます。最後に一言ずつ、統合委員を務めての感想や新校に対する期待などを話していただきたい。

委員

最初は長い道のりに感じた2年半も、意外と早かった。会がまとまるか不安だったが、何とか形になり、安心している。こうして自分たちが様々な事を検討してまとめた結果が評価されるのは、ずっと先のことになるだろう。自分たちが良かれと思って決めたことに、後々クレームが付

くこともあるだろう。しかし、皆様の意見の集大成として、中野東中学校が無事開校するので、良かったと思っている。

委員

前会長から町会長が交代して途中から参加した。毎回白熱した論議が交わされ、最近の学校の事情を知ることができて大変勉強になった。特に女性陣の教育に対する熱意は印象的だった。自分が60年前に卒業した第三中学校が、発展的閉校を経て中野東中学校に生まれ変わるというプロジェクトに参加させていただいて、大変嬉しく思っている。本中学校が成功して、中野の名門となることを祈念している。

委員

最後の数回しか関わることができなかったが、昨年第三中学校を息子が卒業して、4月に娘が中野東中学校に入学する。再びこの学校に関わるので、引き続き支えていきたい。

委員

昨年、校章を決める頃から参加した。全体のごく一部にしか関われなかったが、小さな決定を一つ一つ積み重ねて学校を作り上げていくのだと知ることができた。自分は、息子が今2年生で、新校で3年生になるという、統合事業の渦中にいる人間である。閉校から開校という、二つの学校をまたぐ貴重な体験をさせていただいた。3年間やってくださった皆様に感謝申し上げます。

委員

自分はなかなか出席できなかったが、出席するたびに、地域の方々の学校と子どもに対する思いに触れて、ありがたく感じていた。途中では標準服の検討部会にも参加できて、とても楽しかった。統合委員会は本日で終わりだが、これから始まる新校がどうなっていくのか、今後も見守っていきたい。

委員

正副委員長、特に委員長は、途中から委員長になって大変だっただろう。感謝申し上げます。この2年半の間に第三中学校から息子が2人卒業した。統合委員としてひととおりは意見を言わせてもらったので、あとは新校が子どもたちのために良い学校になっていくことを切に願っている。新校は2か月後に第三中学校の校舎から始まるが、3年後に第十中学校の敷地にできる新校舎に通う子どもたちがどういう学園生活を送るかを、委員の一人として最後まで見届けたい。新校がどういう形で運営されるのか興味深いし、また応援していきたい。

委員

両校の先生の各学校への愛を強く感じた。また、他の皆様の様々な意見を伺えて良かった。新校開校の5年、10年後に、この統合委員会で我々が決めたことが、子どもたちのためになっていると実感できれば良いと思う。紫紺色の素敵な校旗を作っていただいて満足である。地域からも中野東中学校を応援していきたい。

委員

皆様の熱い思いが伝わって、とても勉強になった。娘と息子が本校に入学予定だが、その時に「この学校に入学できて良かった」と思える学校になっていれば良いと思う。

委員

本日欠席した委員からのメッセージを預かっているので紹介する。新しい時代を担う子どもたちに相応しい学校になることを願っている。貴重な経験をさせていただいて感謝している。

自分のメッセージとしては、皆様の意見を伺えて貴重な体験になった。子どもたちのために良い学校を作っていただきたい。

委員

皆様の意見を伺えて勉強になった。標準服検討部会に出席したが、自分の思いが反映された標準服になって良かった。

委員

一年余りの参加だった。我々が時間をかけて協議して出来上がった物に対して、部外者は自由に意見を言うのだろうかと思うが、今後ともよろしくお願ひしたい。

委員

娘が3年前に第十中学校を卒業した。とても穏やかな学校で学ばせていただけで良かったと親子で感じている。その校風を残して、中野東中学校が、地域に愛され子どもが安心して学べる学校になることを願っている。

委員

24年前に第十中学校を卒業した。自分の母と自分は第十中学校、自分の子どもたちは中野東中学校に通うことになる。自分は第十中学校が大好きだったので、この統合委員会の委員に応募した。大好きな第十中学校と伝統のある第三中学校が統合すると聞いた時は、どうなるか不安だった。(仮称)総合子どもセンター・図書館等が併設されるということだが、子どもたちの安全の確保には十分留意してほしい。また、23区内でも先進的なモデル校になれば良いと思っている。子どもたちが卒業して将来家庭を持ったとき、自分の子どもたちも同じ学校に通わせたいと思える学校になれば良い。歴史の変わり目の事業に携われてとても嬉しく思う。

委員

自分の子どもは一人が昨年度卒業し、一人はこれから新校に入学する。地域の大人が協力して生徒たちの活動を支えたい。

委員

新しい素敵な学校が出来るのではないかと期待している。自分のいる昭和地区委員会内では、新校の場所が遠いという話が出ている。子どもたちが、遠くても素敵な学校だから通いたいと思える学校になれば良いと思う。

委員

先週2泊3日で、第三中学校と第十中学校の2年生が、合同でスキー移動教室に出かけた。子どもたちは、顔合わせの時は緊張していたが、3日間ですぐに仲良くなり、最終日の別れ際には、2か月後に再会できるのに、抱き合っただけを惜しむ姿も見られた。それを見て、新校では彼らが3年生として後輩を引っ張って行ってくれるだろうと非常に心強く思った。良い学校になるように、両校で力を合わせていきたい。

委員

貴重な経験をさせていただいた。自分は第三中学校で3年間副校長を務めたが、本当に素晴らしく優秀な学校である。素敵な第十中学校と統合して、最高の学校になるのではないかなと思う。統合委員会の皆様には、これからも中野東中学校を見守ってほしい。

委員

統合を経験するのは初めてだが、統合委員会に参加してから、気付けば第三中学校の視点で考えていた。第三中学校への思いの表れだと思う。まだ2年間しか学校にいない自分ですらそうなのだから、皆様の各校への愛情たるや、いかほどであろうと思う。

統合委員会で学校に対する地域の皆様の愛に触れて、温かく見守られる両校の生徒たちと、そんな学校で働かせてもらえる自分たちは幸せだと感じた。皆様の熱い思いをぶつけあいながらも、歩み寄って出来上がった中野東中学校なので、皆様の期待に応えられるような学校にしていかなければいけないと思っている。

委員

歴史の変わり目に立ち合わせていただいて、感謝している。自分は統合を経験するのは2回目だが、どちらも自分の仕事への向き合い方に大きな影響を与えた。新校にとって、本当に大事なのはこれからだと思う。新校が素敵な学校になることを願っている。

委員

今不安に感じる部分も、工事が進んで素敵な学校の全体像が見えてくれば、希望に変わると思う。全国に誇れる立派な学校になるよう、学校と保護者と地域が一丸となって新校を支えていきたい。

委員

今年度から施設担当として統合委員会に参加した。来年度から本格的に建物の工事が始まるが、



皆様が不安に感じる部分はきちんと解決して、新校舎を作り上げたい。この先徐々に形になっていく学校を、引き続き見守っていただきたい。

委員

この春、無事に中野東中学校が開校するという事で、今までのことを思い返して感無量である。これまで統合委員会ニュースで様々お知らせしてきたが、統合して最初は三中の場所に行っ、その後十中の場所に来るということになるが、実際に子どもが通うときに、地域の方が戸惑いを覚えるということのないようにしなくてはならない。これからも、子どもたちの動きなどもちゃんと地域にわかってもらいながら進めていく必要があるということ、改めて感じている。皆様には本当にお世話になり感謝している。

委員

この場に参加して、新校に懸ける熱い思いは、皆共通であると感じた。皆様の思いを受けて、素晴らしい学校になるだろう。これからも陰ながら中野東中学校を応援していきたい。

委員長

前委員長の後を引き継いで、途中から委員長を務めた。中野東中学校の通学区域は広いので、通学区域内でも、地域が変われば住民の考え方も変わる。それをどうすれば一つにまとめられるのか、非常に悩んだ。皆様も、自身の意見を持ちながらも、周りの人の意見を聞いて、考えの幅を広げたり、折り合いを付けたりする場面があったと思う。各々思うところはありながらも、子どもたちの利益を考えて、新校を育てるために協力するという姿勢には、共感していただけるかと思う。引き続き新校を皆様で守っていきたいと思うので、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

## (2) 教育長あいさつ

委員長

それでは、最後に教育長よりあいさつをいただきたい。

教育長

平成27年の夏に委嘱させていただいた時よりも、委員の人数が増えており、足掛け3年、とうとう最終回を迎えるまでに来た。

毎回の統合委員会の開催状況については、学校再編担当から報告を受けていた。本当に生みの苦しみと言うか、新しい学校づくりに真剣に皆さんが議論していただいたと思っている。

教育委員会としては、今後50年、100年と続けられるような、新しい考え方をどんどん取り入れようということで新しい方針を提案し、皆様方を驚かせ悩ませてしまう部分もあったかと思う。皆様方に形をつくっていただいたので、これから学校の教職員を含む我々教育委員会が一丸となって、しっかり運営し、魂をいれていかななくてはならないと思っている。それには、地域とご家庭の協力が不可欠であり、今後も新校を温かく見守っていただきたい。委員長、副委員長を含め、皆様には感謝申し上げます。

委員長

これをもって、第三中学校・第十中学校統合委員会を終了する。長い間ありがとうございました。最後に記念撮影を行い、解散とする。

— 記念撮影 —